

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

				コード	631-01-01		
事務事業名		文化財発掘調査事業			事務の種類		自治事務(義務的なもの)
担当部署名		世界遺産・文化財総管理室 文化財課			連絡先		内線4480
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち		予算科目	会計	1 一般会計
	施策	3	歴史・文化			款	10 教育費
	施策の方向	1	歴史資産を活かしたまちづくり			項	5 社会教育費
						目	4 文化財保存事業費
対象(誰を・何を)		市内に存在する埋蔵文化財					
目的(どうしたいか)		埋蔵文化財を保護し、さらにはその活用を積極的に図り、市民をはじめ多くの人たちに本市の個性の一つである豊かな歴史性を周知する。また、文化財を将来へ継承していく。					
手段(事業内容)		開発工事等との調整を図り、埋蔵文化財の保護を行う。場合によっては記録保存のため発掘調査を実施する。					

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	7,490	5,405	6,767
人件費	10,509	13,250	14,707
総事業費	17,999	18,655	21,474
うち市負担分	15,122	17,153	20,040

元年度決算主な内訳	
【事業費】	
・文化財調査委託料	2,001千円
・写真撮影委託料	735千円
・印刷製本費	1,157千円
・機器借上料	1,252千円
・消耗品費等	260千円
【特定財源】	
・国庫補助金	1,502千円

活動指標

指標名	発掘届出・試掘調査依頼書件数	単位	件
指標の説明	発掘届出と試掘調査依頼書の提出件数合計。「令和2年度目標」は過去3ヶ年(平成29~元年度)の平均値を記載。		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	346	295	329

参考数値	
令和元年度	
届出件数	
・発掘届出	295件
(発掘29、立会125、慎重工事118)	
・試掘依頼	57件
調査件数	
・発掘調査	32件
・立会調査	90件
・試掘調査	39件

成果指標

指標名	発掘・立会調査件数	単位	件
指標の説明	発掘・立会・試掘調査の件数合計。「令和2年度目標」は、過去3ヶ年(平成29~元年度)の平均値を記載。		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	139	161	145

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 埋蔵文化財は、その性質上、一度損傷を受けると二度と元には戻すことはできない。工事等で影響を受ける埋蔵文化財については、関係者と事前に協議を重ね極力現状で保全するようにしているが、どうしても支障がある範囲については必要最小限の発掘調査を行って、記録保存を行っている。発掘調査後は出土遺物の整理、検出遺構の精査検討、写真撮影、図面浄書(トレース)等といった作業を経て、その成果を周知・公表するために発掘調査報告書を作成し将来に継承するとともに、調査成果を展示、公開、活用に使っている。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

				コード	631-01-02		
事務事業名		石川流域前期古墳発掘調査事業			事務の種類		自治事務(義務的なもの)
担当部署名		世界遺産・文化財総合管理室 文化財課			連絡先		内線4480
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち		予算科目	会計	1 一般会計
	施策	3	歴史・文化			款	10 教育費
	施策の方向	1	歴史資産を活かしたまちづくり			項	5 社会教育費
						目	4 文化財保存事業費
対象(誰を・何を)		主として石川流域に分布する前期古墳					
目的(どうしたいか)		石川流域の前期古墳は、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の大型古墳を考える上で非常に重要な古墳である。これらの前期古墳の内容を把握して、本市の貴重な文化財として将来的には国指定史跡を目指す。					
手段(事業内容)		各古墳の測量や発掘調査を実施して、古墳の形状や規模、築造時期を把握して、文化庁や大阪府をはじめ関係諸機関と調整を図り、国指定史跡を目指し、保存や活用を図る。					

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	1,969	1,646	2,198
人件費	1,875	4,091	2,356
総事業費	3,844	5,737	4,554
うち市負担分	3,229	4,981	3,865

元年度決算主な内訳	
【事業費】	
・文化財調査委託料	1,373千円
・写真撮影委託料	50千円
・機器借上げ料	4千円
【特定財源】	
・国庫補助金	756千円

活動指標

指標名	石川流域の前期古墳の確認調査		単位	件
指標の説明	事業計画に基づいて、確認調査等を実施する。平成29年度は通法寺裏山古墳、平成30年度以降は壺井丸山古墳を対象。			
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)	
	1	1	1	

参考数値
史跡指定に向けた検討委員会開催回数3回/年

成果指標

指標名	石川流域の前期古墳の調査成果の公表		単位	件
指標の説明	平成29年度は通法寺裏山古墳確認調査、平成30年度以降は壺井丸山古墳他の発掘調査を予定。			
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)	
	1	1	1	

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 世界文化遺産に登録された古市古墳群であるが、その成立以前に当たる古墳時代前期には、石川流域に数多くの古墳が築かれている。これらの中には保存状態の良い古墳が存在し、歴史的に重要なものと評価されている。こうした石川流域の前期古墳を保護し、後世に継承するために国の史跡指定を目指して、各古墳の計画的な確認調査が必要である。古市古墳群のみならず、その前段階の古墳についても保全を図り、古市古墳群と一体的に整備・活用を図ることで本市の歴史遺産としての価値を高める。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

				コード	631-01-03	
事務事業名		文化財指定・助成事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		世界遺産・文化財総管理室 文化財課		連絡先	内線4480	
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計	1 一般会計
	施策	3	歴史・文化		款	10 教育費
	施策の方向	1	歴史資産を活かしたまちづくり		項	5 社会教育費
					目	4 文化財保存事業費
対象(誰を・何を)		市内に存在する文化財				
目的(どうしたいか)		市内の文化財を適切に保護を行い、将来に継承していく。また、指定文化財等の公開や活用を積極的に推進する。				
手段(事業内容)		市内に存する文化財の価値を明確にして、文化財保護法、大阪府文化財保護条例、羽曳野市文化財保護条例に則って、文化財指定等を行う。また、指定文化財等の所有者に対して、適切な保存管理や公開・活用を行う一助として助成金の交付を行う。				

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	5,431	1,724	2,386
人件費	6,046	5,312	4,872
総事業費	11,477	7,036	7,258
うち市負担分	11,477	7,036	7,258

元年度決算主な内訳
【事業費】
・文化財保存事業費助成金
1,722千円
・登録文化財所有者の会負担金
2千円
【特定財源】

活動指標

指標名	文化財保護審議会の開催回数	単位	回
指標の説明	指定文化財について審議する専門委員会の開催回数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	2	0	1

参考数値	
国指定・登録文化財件数	28件
府指定文化財件数	13件
市指定文化財件数	22件

成果指標

指標名	市指定文化財件数	単位	件
指標の説明	羽曳野市文化財保護条例に基づく文化財指定の件数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	0	1	1

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 本市には多種多様な歴史遺産が数多く存在しており、これらは適正な保護を図った上で将来に継承していく責務を負う。これらの内、国や府によってその評価を受けたものは、それぞれ指定されて保護されている。一方、これら以外で、羽曳野市の歴史を考える上で顕著な価値のある歴史遺産については、羽曳野市保護条例に基づいて市において文化財指定を行っている。また、これらの指定文化財等の所有者については当該文化財等の所有者については当該文化財の保護やその普及・公開、活用へも協力いただいていることから一定の助成金を交付している。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード		631-01-04		
事務事業名		史跡等管理・保存整備事業		事務の種類		
				自治事務(義務的なもの)		
担当部署名		世界遺産・文化財総合管理室 文化財課		連絡先		
				内線4480		
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計	
	施策	3	歴史・文化		1	一般会計
	施策の方向	1	歴史資産を活かしたまちづくり		款	10
					項	5
対象(誰を・何を)		市内に存在する史跡や歴史公園、また歴史的に価値が高く重要な遺跡等				
目的(どうしたいか)		我が国の歴史を理解する上で欠くことのできない史跡地等について、適切な状態で保存して、公開や活用を図る。また、歴史的に価値の高い重要な遺跡等の史跡指定を行い、公有化を推進する。さらに整備に向けての調整を図る。				
手段(事業内容)		史跡地等の清掃・除草作業、その他史跡等の維持管理に必要な事業を行う。また、歴史的に価値の高い遺跡の史跡指定や整備に向けての調整を行う。				

事業費

単位:千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	368,099	160,572	58,490
人件費	3,401	4,270	3,859
総事業費	371,500	164,842	62,349
うち市負担分	36,609	40,024	20,461

元年度決算主な内訳	
【事業費】	
・史跡清掃委託料	4,899千円
・植栽管理委託料	416千円
・その他経費	1,330千円
・墓山古墳買上げ	153,927千円
【特定財源】	
・国庫補助金	124,818千円

活動指標

指標名	史跡等指定面積	単位	m ²
指標の説明	国や府指定史跡、遺跡公園等の面積		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	96,729	97,540	97,967

参考数値	
R元年度(実績)史跡等指定面積	応神陵外濠外堤23,627.69m ²
	菅田白鳥埴輪製作遺跡5,211.12m ²
	墓山古墳44759.63m ² 、
	峯ヶ塚古墳11,189.14m ² 、通法寺跡
	6,602.67m ² 、観音塚古墳1,741.25
	m ² 、庭鳥塚古墳2,174m ² 、菅田史跡
	公園150m ² 、翠鳥園遺跡公園1,874
	m ² 、飛鳥千塚210m ²

成果指標

指標名	史跡公有化面積	単位	m ²
指標の説明	国や府指定史跡、遺跡公園等の面積のうち公有化を行った面積		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	55,834	56,645	57,072

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 我が国の歴史を考える上で欠くことのできない重要な遺跡等は、史跡に指定されている。本市では、応神天皇陵古墳外濠外堤をはじめ、多くの史跡や遺跡公園がある。これらを適正な状態で維持管理するために、定期的に除草や樹木剪定、清掃や看視業務を委託している。将来的には、計画的に整備・公開を行っていき市民の憩いや学習の場に活用していく必要がある。また、現在指定史跡以外にも世界遺産の構成資産周辺については、一定の環境整備に加え発掘調査によって遺構等が確認された場合は、積極的に保護を図ることとしており、史跡指定を含めた保全や整備活用の検討が必要となってくる。そのためR3年度からは有識者による「古市古墳群保存活用計画」の策定を予定している。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード	631-01-06				
事務事業名		文化財保管施設管理事務事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)		
担当部署名		世界遺産・文化財総合管理室 文化財課		連絡先	内線4480		
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	歴史・文化		款	10	教育費
	施策の方向	1	歴史資産を活かしたまちづくり		項	5	社会教育費
					目	4	文化財保存事業費
対象(誰を・何を)		市内に存在する文化財整理作業及びその施設管理					
目的(どうしたいか)		文化財を適切に保管して、市民等に公開、活用するため、文化財の調査研究や整理作業を行う。また、その作業施設を適正な状態で管理する。					
手段(事業内容)		発掘調査で出土した遺物の洗浄、分類、注記、接合や復元、実測等の記録作成、図面や写真の整理、これらの保管作業を行っていく。また、その作業施設の適正管理も行う。					

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	897	1,955	1,377
人件費	756	2,373	2,359
総事業費	1,653	4,328	3,736
うち市負担分	1,653	4,328	3,736

元年度決算主な内訳	
【事業費】	
・光熱費等	659千円
・機械警備委託料	70千円
・し尿汲み取り手数料	37千円
・屋根修繕費	1,189千円
【特定財源】	

活動指標

指標名	修繕必要箇所数	単位	箇所
指標の説明	文化財資料の整理作業施設や保管施設における修繕必要箇所数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	2	2	2

参考数値	
コンテナ保管数	
文化財収蔵庫	7,719
文化財作業室	2,212
合計	9,931

成果指標

指標名	修繕終了箇所数	単位	箇所
指標の説明	文化財資料の整理作業施設や保管施設における修繕済箇所数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	2	2	2

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 市内の発掘調査等で出土した遺物などを市民をはじめ広く公開していくために、整理作業を効率的かつ円滑にしていく必要がある。現在の整理作業施設は、経年による劣化をはじめ耐震にも課題があるため、施設の在り方を総合的に検討していく必要がある。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード	631-02-01		
事務事業名		文化財等の魅力発信事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)
担当部署名		世界遺産・文化財総合管理室 文化財課		連絡先	内線4480
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	3	歴史・文化		款 10 教育費
	施策の方向	1	歴史資産を活かしたまちづくり		項 5 社会教育費
					目 4 文化財保存事業費
対象(誰を・何を)		市民等(児童・生徒も含め)			
目的(どうしたいか)		本市の多様で豊かな歴史遺産の価値、魅力やおもしろさを知っていただき郷土愛を育む。また、歴史遺産を通し想像力や感性も養う。			
手段(事業内容)		児童、生徒や教員、ボランティアガイド等を対象にした出前授業や研修を開催する。また、生涯学習の観点から、現地見学や講演会等の開催やその支援に積極的に取り組む。			

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	104	0	0
人件費	4,099	2,221	2,809
総事業費	4,203	2,221	2,809
うち市負担分	4,203	2,221	2,809

元年度決算主な内訳
【事業費】
【特定財源】

活動指標

指標名	職員派遣等協力依頼件数		単位	件
指標の説明	講師派遣、博物館学実習や学校授業等の協力依頼件数			
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)	
	26	22	10	

参考数値

成果指標

指標名	対象人数		単位	人
指標の説明	講座や授業を受講した人数			
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)	
	1,876	1,565	500	

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 本市の豊かな歴史遺産の特徴を、学校教育や生涯学習などあらゆる機会を通して十分に伝えていきたい。人類最古の時代である旧石器時代から世界文化遺産に登録された応神天皇陵古墳、日本遺産に登録された竹内街道や現在に至るまで、日本史の各時代を代表する遺跡や遺物といった多種多様な歴史遺産が存在している。他市等にはない本市のユニークな特徴を周知して、ひとづくりやまちづくりに寄与していきたい。令和2年度の目標(見込)については、コロナ禍の影響もあり30年度、元年度の実績より落ち込むものと予想される。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

				コード	631-02-02		
事務事業名		文化財の展示・公開事業			事務の種類		自治事務(義務的なもの)
担当部署名		世界遺産・文化財総管理室 文化財課			連絡先		内線4480
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち		予算科目	会計	1 一般会計
	施策	3	歴史・文化			款	10 教育費
	施策の方向	1	歴史資産を活かしたまちづくり			項	5 社会教育費
						目	4 文化財保存事業費
対象(誰を・何を)		出土遺物や市内に点在する文化財、また文化財見学来訪者					
目的(どうしたいか)		本市の豊かな歴史的個性を体感してもらうために、本市内での発掘調査によって出土した遺物を展示・公開し、その充実を図る。また、市内に点在する文化財(遺跡や古墳、神社仏閣等)の理解や関心を深める。					
手段(事業内容)		本市の特徴的な文化財の展示や解説を行う。また、文化財の説明案内板の設置、多言語化を含めた整備を進める。					

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	1,704	1,754	954
人件費	1,605	1,993	2,734
総事業費	3,309	3,747	3,688
うち市負担分	2,458	3,337	3,688

元年度決算主な内訳	
【事業費】	
・看板設置委託料	825千円
・備品購入費	929千円
【特定財源】	
・国庫補助金	410千円

活動指標

指標名	展示ケース設置や説明板の整備箇所数	単位	台・箇所
指標の説明	出土遺物の展示保管、遺跡や古墳の説明板の設置整備箇所数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	6	4	3

参考数値	
令和元年度	展示ケース1台
遺跡案内板	(ニッ塚古墳・東山古墳・応神天皇陵古墳)

成果指標

指標名	文化財展示室来訪者数	単位	人
指標の説明	文化財展示室の来訪者人数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	946	2,610	1,000

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 令和元年度は世界文化遺産に登録されたことから平成30年度に比べ来訪者数は倍増した。今年度はコロナ禍の影響で来訪者の増加は見込みにくいが、今後のコロナ終息を見据え文化財の展示や公開にかかるハード面の整備を推進し、同時に訪問者への適切な解説などソフト面の充実も図っていききたい。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

				コード	631-03-01
事務事業名		世界遺産連絡会議事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)
担当部署名		世界遺産・文化財総合管理室 世界遺産課		連絡先	内線4405
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	3	歴史・文化		款 2 総務費
	施策の方向	1	歴史資産を活かしたまちづくり		項 1 総務管理費
対象(誰を・何を)		①羽曳野市民・藤井寺市民 ②国内外からの来訪者 ③古市古墳群			
目的(どうしたいか)		①古市古墳群の価値・魅力の発信と地元の誇りの醸成②来訪者の効率的・効果的な受入体制の整備③保存、活用			
手段(事業内容)		古市古墳群を紹介するリーフレット、ウォーキングマップなどを作成。ウォークイベントなどを実施し、魅力の発信と保存活用に取り組んでいる。もずふる応援隊の募集、運営を行っている。また、ユネスコへのモニタリングを共同で行っている。			

事業費

単位:千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	489	492	500
人件費	2,041	683	1,349
総事業費	2,530	1,175	1,849
うち市負担分	2,530	1,175	1,849

元年度決算主な内訳
【事業費】 古市古墳群リーフレット312,400円 古市古墳群ウォーキングマップ 484,000円 VR動画上映用BDプレーヤー等45,617円 モニタリング用カメラ133,196円など (市の負担は2分の1) 【特定財源】 なし

活動指標

指標名	同会議開催回数	単位	回
指標の説明	来訪者対策や地元企業や市民に対する案件などが積み重なり会議の案件や開催数が増える。		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	1	1	2

参考数値
もずふる応援隊個人隊員数
30年度実績 1,983人
元年度実績 2,011人

成果指標

指標名	もずふる応援隊の団体隊員数(羽曳野市受付分)	単位	団体
指標の説明	藤井寺市、羽曳野市内で活動する団体が発起人となり、世界文化遺産登録に向けた地元の機運醸成を図るため、設立された「もずふる応援隊」の団体隊員数(累積)		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	183	194	200

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の構成資産を含む古市古墳群は羽曳野市と藤井寺市とにまたがっており、来訪者の受け入れ態勢の整備や、古市古墳群の価値を市民や来訪者に知らせていく取り組みなどは、2市で連携して行っていかななくてはならない。世界遺産の保存活用を市民とともに進めていくために、もずふる応援隊の活性化も重要である。これらのことから、今後よりいっそう2市の連携を強め、課題解決とともに取り組んでいく必要がある。古市古墳群の活用に関しては、トイレなどの便益施設の不足やエリア内を効率的に周遊するための交通手段の確保、古市古墳群全体の価値を知らせるガイダンス施設の整備などの課題がある。それらを連携して取り組んでいくため、2市の連絡調整をよりいっそう行う必要がある。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード		631-03-02		
事務事業名		世界遺産保存活用会議事務事業		事務の種類		
				自治事務(任意のもの)		
担当部署名		世界遺産・文化財総合管理室 世界遺産課		連絡先		
				内線4402		
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計	
	施策	3	歴史・文化		1	一般会計
	施策の方向	1	歴史資産を活かしたまちづくり		2	総務費
					1	総務管理費
対象(誰を・何を)		百舌鳥・古市古墳群				
目的(どうしたいか)		世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の保存・活用				
手段(事業内容)		大阪府、堺市、藤井寺市と羽曳野市の4者にて、遺産影響評価やモニタリングの実施方法等について検討などを行っている。また、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の魅力の発信に連携して取り組んでいる。				

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	6,443	6,633	5,601
人件費	5,291	2,656	3,973
総事業費	11,734	9,289	9,574
うち市負担分	11,734	9,289	9,574

元年度決算主な内訳
【事業費】(千円) 第43回世界遺産委員会出席 10,367 あべのハルカスでのパブリック ビューイング 5,026 登録記念誌作成 2,993 など (羽曳野市の負担は8分の1)
【特定財源】 なし

活動指標

指標名	同会議の開催回数	単位	回
指標の説明	本部会議及び幹事会を実施した件数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	10	11	14

参考数値

成果指標

指標名	ウェブサイトアクセス数(セッション数)	単位	回
指標の説明	保存活用会議において作成しているウェブサイトのアクセス数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	129,872	504,717	800,000

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 「百舌鳥・古市古墳群」が世界遺産に登録され、今後、保存・活用に、地元4自治体が連携して取り組んでいく必要がある。新たな開発が資産や周辺環境に及ぼす影響を評価し、マイナスの影響を及ぼすことを回避するための遺産影響評価(HIA)や、ユネスコ及び文化庁への定期報告とそのためモニタリングには、4者が実施方法等とともに検討しながら足並みをそろえて取り組まなければならない。また、「百舌鳥・古市古墳群」の価値を知らせていくための子ども向けの学習資料の作成や、首都圏へのPRなど全国からの誘客の取り組みなどもともに進めていく。 従来事務局は大阪府と堺市が担っていたが、令和2年度以降は羽曳野市、藤井寺市も対等な立場で事務局に参画することとなっており、さらに能動的、積極的に参画する必要がある。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード		631-04-01	
事務事業名		「百舌鳥・古市古墳群」周知啓発活動事業		事務の種類 自治事務(任意のもの)	
担当部署名		世界遺産・文化財総合管理室 世界遺産課		連絡先 内線4402	
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	3	歴史・文化		款 2 総務費
	施策の方向	1	歴史資産を活かしたまちづくり		項 1 総務管理費
					目 5 企画費
対象(誰を・何を)		市民ほか			
目的(どうしたいか)		市民への世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の価値・魅力の普及啓発、保存への参加意欲の増進			
手段(事業内容)		シンポジウムの開催、各種集まりでの講演、学校への副読本の配付や古墳学習への支援などの普及啓発の取り組みや、市のイベント等でのPR、応神外濠外堤花畑での摘み取りの会などの各種イベントの開催など、あらゆる機会を通じた啓発に努める。			

事業費

単位:千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	4,936	3,411	5,839
人件費	7,407	9,154	4,498
総事業費	12,343	12,565	10,337
うち市負担分	12,343	12,116	9,922

元年度決算主な内訳	
【事業費】	
横断幕製作	100千円
シンポジウム	244千円
年賀はがき作成	390千円
など	
【特定財源】	
図書売払金	132千円
年賀はがき売上	317千円

活動指標

指標名	講演会開催回数	単位	本
指標の説明	団体、町会などで世界遺産の話をした回数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	14	28	20

参考数値

成果指標

指標名	世界遺産PR動画閲覧回数	単位	回
指標の説明	羽曳野市公式YOUTUBEチャンネルにアップした動画の閲覧回数(H29～)		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	11,177	208,818	220,000

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 世界遺産登録が決定した、2019年ユネスコ世界遺産委員会では、地域の住民によって古墳群が1600年以上守られてきたことが高く評価され、また、追加的勧告として、資産の保存管理に地域住民がフォーマルに関わる仕組みを検討することが求められている。今後、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」を、人類の宝として未来永劫守っていくためには、地域住民の協力が不可欠である。そのため、今後さらに、地元住民、とりわけ次代を担う子どもたちに、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の価値・魅力を知ってもらい、「これほど貴重なものが地元にあるのだ」ということを誇りに思ってもらうとともに、将来にわたって守っていく意欲を高めていくことが大切である。今後、現在ある副読本以外の子ども向け教材の作成や、あらゆる機会をとらえた啓発の取り組みをさらに進めていく必要がある。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

				コード	631-04-02		
事務事業名		来訪者受け入れ環境整備事業			事務の種類	自治事務(任意のもの)	
担当部署名		世界遺産・文化財総合管理室 世界遺産課			連絡先	内線4402	
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち		予算科目	会計	1 一般会計
	施策	3	歴史・文化			款	2 総務費
	施策の方向	1	歴史資産を活かしたまちづくり			項	1 総務管理費
						目	5 企画費
対象(誰を・何を)		羽曳野市民・国内外からの来訪者					
目的(どうしたいか)		国内外からの来訪者を効果的・効率的に受け入れる。来訪者に価値や魅力を理解してもらう。					
手段(事業内容)		<ul style="list-style-type: none"> 説明看板を中国語、韓国語にも対応できるようにする。 歩行者や車での来訪者のため誘導看板を設置する。 トイレ使用やマップ配布など協力してくれる店舗にステッカーを掲示してもらい、来訪者に周知する。 峰塚公園管理棟など、既存施設の活用により、ガイダンス機能の強化を図る。 					

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	12,920	2,094	1,095
人件費	9,448	2,808	2,624
総事業費	22,368	4,902	3,719
うち市負担分	16,014	3,856	3,223

元年度決算主な内訳
【事業費】 文化財展示室等の説明板へのユニボイスの設置 2,094千円
【特定財源】 大阪府市町村観光振興事業補助金 1,046千円

活動指標

指標名	OSAKA FREE WI-FI認証数	単位	本
指標の説明	峰塚公園管理棟内に設置したWi-Fiの認証数(H30.3~)		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	18,732	23,602	23,000

参考数値

成果指標

指標名	古墳動画視聴数	単位	回
指標の説明	応神天皇陵古墳外濠外堤 花畑前に設置した説明看板に貼付しているQRコードの動画視聴回数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	406	726	700

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 世界遺産登録を機に、来訪者の数が大きく増えたが、それに十分対応できるだけのトイレや駐車場などの便益施設の整備が不十分である。今後、来訪者数は一定落ち着いていくとは思われるが、さらに整備が必要である。現在、周辺店舗に依頼し、来訪者へのトイレの提供等を行っていただける店舗にステッカーを貼付していただく取り組みを進めているが、それをさらに推進するとともに、他の有効な方策がないか検討する。また、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の価値や重要性を来訪者にわかりやすく理解してもらうためのガイダンス施設の整備も課題となっている。とりわけ、土日などの休日に見学できる施設が不足している。現在ガイダンス施設として利用している、時とみどりの交流館や茶山テニスコート管理棟などの活用を工夫するとともに、新たなガイダンス施設を検討する。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード	631-04-03		
事務事業名		古墳DEるるる開催事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)
担当部署名		世界遺産・文化財総合管理室 世界遺産課		連絡先	内線4402
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	3	歴史・文化		款 2 総務費
	施策の方向	1	歴史資産を活かしたまちづくり		項 1 総務管理費
					目 5 企画費
対象(誰を・何を)		市民ほか			
目的(どうしたいか)		地域住民、特に今まで古墳や世界遺産に興味を持っていなかった方々に、古墳群の価値を知り、愛着をもっていただくきっかけづくり。			
手段(事業内容)		企画段階からもずふる応援隊員とともに取り組み、峰塚公園を会場として実施した。四天王寺大学生によるパフォーマンス、古墳にまつわるグッズや食べ物の販売、植輪運搬や古代衣装などの体験、小学生の古墳学習の成果の展示などを実施、約1500人の参加があった。			

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	205	327	272
人件費	8,314	7,447	2,699
総事業費	8,519	7,774	2,971
うち市負担分	8,519	7,774	2,971

元年度決算主な内訳	
【事業費】	
チラシ	102千円
古代衣装	23千円
折込広告	111千円 など
【特定財源】	なし

活動指標

指標名	実行委員会参加者数	単位	人数
指標の説明	実行委員会に参加した人の数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	19	31	30

参考数値

成果指標

指標名	イベント当日参加者数	単位	人数
指標の説明	イベント全体の参加者数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	700	1,500	500

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」を未来永劫守っていくためには、地元住民、とりわけ次代を担う子どもたちに、価値・魅力を伝え、守っていかうと思ってもらうことが大切である。だが、未だ周知が不十分な状況であり、古墳に興味のない子どもたちに興味関心を持ってもらうための工夫が必要である。 本事業は、古墳関連グッズ、食品、古墳にまつわるクイズ、体験など、様々な切り口から古墳や世界遺産に興味・関心を持ってもらうことを目的とした事業であり、この課題に対応するものとして重要である。また、市単独でなく、実行委員会形式でもずふる応援隊とともに作るイベントである点でも、住民とともに古墳群の保存活用を進めていくという方向性に合致しており、重要である。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード	631-05-01		
事務事業名		竹内街道活性化事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)
担当部署名		市長公室 政策推進課		連絡先	内線3513
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	3	歴史・文化		款 2 総務費
	施策の方向	1	歴史資産を活かしたまちづくり		項 1 総務管理費
					目 5 企画費
対象(誰を・何を)		竹内街道及びその周辺の資産等			
目的(どうしたいか)		魅力を再生・創造し、広く発信することにより、地域に対する愛着や誇りを醸成し、地域全体の活性化を促進する。			
手段(事業内容)		本市単独での取組みの他、大阪府・大阪市・堺市・松原市・羽曳野市・太子町・奈良県・葛城市・大和高田市・橿原市・桜井市・明日香村からなる12の沿道自治体などで組織を形成し、府県の枠組みを越えて連携しながら、街道の活性化に向けた取組みを行う。			

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	321	243	266
人件費	1,512	1,518	375
総事業費	1,833	1,761	641
うち市負担分	1,833	1,761	641

元年度決算主な内訳
【事業費】 負担金 200千円 消耗品 43千円
【特定財源】

活動指標

指標名	会議の開催回数	単位	回
指標の説明	実行委員会及び幹事会等の開催回数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	6	6	6

参考数値
【R1実施イベント】 ・街道まつり(会場は会長市) ・観光PR展(四天王寺ワッソ) ・フォトコンテスト ・光のイベント ・スタンプラリー(ウォークイベント) ・日本遺産魅力発信事業

成果指標

指標名	実行委員会全体としての事業数	単位	事業
指標の説明	実行委員会にて計画されている関係自治体が連携して行っている事業数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	6	6	6

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きい。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 大阪府・奈良県及び府・県内の12自治体の首長が実行委員となり、街道及びその周辺の適切な保存、活用等について実行委員会を通じて事業を実施している。日本遺産に認定された竹内街道・横大路(大道)としての魅力づくりも含め、さらなる街道の活性化に向けた取り組みを広域的に推進していく。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード	631-05-02		
事務事業名		地方創生交流拠点整備事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)
担当部署名		市長公室 政策推進課		連絡先	内線3513
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	3	歴史・文化		款 2 総務費
	施策の方向	1	歴史資産を活かしたまちづくり		項 1 総務管理費
					目 5 企画費
対象(誰を・何を)		浅野家住宅(旧オキナ酒造場)			
目的(どうしたいか)		家屋の歴史的な価値を活かしながら、羽曳野版DMOの活動・運営拠点として再生する。			
手段(事業内容)		市で取得した浅野家住宅について、観光・移住・交流の複合的な拠点としての整備・施設改修を実施する。			

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	189,877	15,762	525,780
人件費	1,134	1,897	750
総事業費	191,011	17,659	526,530
うち市負担分	40,161	11,829	496,530

元年度決算主な内訳
【事業費】 委託料(家屋等調査業務) 4,102千円 委託料(再整備設計業務) 11,660千円 ※繰越業務
【特定財源】 地方創生推進交付金 5,830千円

活動指標

指標名	用地・建物の取得率	単位	%
指標の説明	拠点となる浅野家住宅の取得率		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	100		

参考数値

成果指標

指標名	拠点施設の整備状況	単位	%
指標の説明	拠点施設にかかる整備の進捗率		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	10	10	50

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	成果は不十分である。	C
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 本事業は、(仮称)はびきの観光・移住創造かんばんに一設立準備事務事業との総合的な取組みとして、本市の地方創生の取組みの中でも中核的なものであり、総合的な成果についても中長期的な目標となることから、今後も継続して事業を行う。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード		632-01-01	
事務事業名		ギャラリーはびきの運営事務事業		事務の種類 自治事務(任意のもの)	
担当部署名		市民人権部 市民協働ふれあい課		連絡先 内線1081	
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	3	歴史・文化		款 2 総務費
	施策の方向	2	文化・芸術の振興と仕組みづくり		項 1 総務管理費
					目 16 市民協働費
対象(誰を・何を)		市民			
目的(どうしたいか)		文化・芸術に親しみ、意識の高揚を図る。			
手段(事業内容)		「ギャラリーはびきの」にて、年間5回、著名な現代工芸作家等の企画展や和島コレクション等の文化財資料の展示を実施している。また、企画展においては制作体験や、作家から直接作品の解説を行ってもらう「おしゃべりサロン」を実施している。			

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	360	273	409
人件費	2,116	1,366	825
総事業費	2,476	1,639	1,234
うち市負担分	2,476	1,639	1,234

元年度決算主な内訳	
【事業費】	
・展示協力者謝礼	20千円
・消耗品費	158千円
・印刷製本費	70千円
・清掃具借上料	25千円
【特定財源】	

活動指標

指標名	年間の展示回数	単位	回
指標の説明	年間5回のうち、企画展を2回、文化財資料の展示を3回実施		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	2	3	5

参考数値	
・入館無料	
・おしゃべりサロン(制作体験)	
企画展1回につき定員8人から20人	
※元年度については、企画展の実施が1回のみのため、人数が大幅に減となった。	
※2年度については、文化財資料の展示が主なため、企画展は行わない。	

成果指標

指標名	おしゃべりサロン参加人数	単位	人
指標の説明	おしゃべりサロン参加人数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	22	6	

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 「ギャラリーはびきの」の施設及び展示については、見学者からは高い評価を得ている。今後も質を落とさず、魅力的な展示が行えるよう、引き続き取り組んでいく。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

				コード	632-01-02	
事務事業名		伝統芸能保存育成事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)	
担当部署名		市民人権部 市民協働ふれあい課		連絡先	内線1081	
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計	1 一般会計
	施策	3	歴史・文化		款	2 総務費
	施策の方向	2	文化・芸術の振興と仕組みづくり		項	1 総務管理費
					目	16 市民協働費
対象(誰を・何を)		伝統芸能を保存育成していく団体				
目的(どうしたいか)		地域に密着した伝統芸能を後世に継承する。				
手段(事業内容)		伝統芸能を保存育成している2団体の活動資金の一部を助成する。				

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	60	60	60
人件費	378	379	375
総事業費	438	439	435
うち市負担分	438	439	435

元年度決算主な内訳
【事業費】 ・ 伝統芸能保存育成助成金 60千円
【特定財源】

活動指標

指標名	伝統芸能を保存育成している団体数	単位	団体
指標の説明	1. 羽曳野太鼓「翔」 2. 羽曳野野々上河内音頭同好会		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	2	2	2

参考数値

成果指標

指標名	活動回数	単位	回
指標の説明	1. 羽曳野太鼓「翔」 11回 2. 羽曳野野々上河内音頭同好会 1回		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	15	12	20

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 伝統芸能を後世に継承していくうえで必要な取り組みであるが、団体の高齢化により団体自体を継続していくことが今後の課題であり、引き続き支援に取り組んでいく。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

				コード	632-02-01		
事務事業名		市民文化活動支援事業			事務の種類	自治事務(任意のもの)	
担当部署名		教育委員会生涯学習室 社会教育課			連絡先	内線4450	
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち		予算科目	会計	1 一般会計
	施策	3	歴史・文化			款	10 教育費
	施策の方向	2	文化・芸術の振興と仕組みづくり			項	5 社会教育費
	対象(誰を・何を)	文化活動に取り組む団体					目
目的(どうしたいか)		文化関係団体・サークルや地域の人材と連携して市民の自主的な文化・芸術活動を促進する。					
手段(事業内容)		市文化連盟への補助金の交付、市民会館、コミュニティセンターの利用料減免等により各文化団体の日常活動の支援を行う。					

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	360	713	1,212
人件費	1,134	1,518	1,124
総事業費	1,494	2,231	2,336
うち市負担分	1,494	2,231	2,336

元年度決算主な内訳	
【事業費】	
市文化連盟助成金	360千円
(@18千円×20団体)	
LIC利用料	353千円
(羽曳野市民	
ウインドオーケストラ使用分)	
【特定財源】	

活動指標

指標名	団体活動支援回数	単位	回
指標の説明	事務担当職員の団体の会議、行事等への参加回数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	14	13	5

成果指標

指標名	活動人数	単位	人
指標の説明	文化団体に参加し日常的に活動している人数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	1,841	1,450	1,600

参考数値	
文化祭実行委員会会議	年5回
市民文化祭への出展、出演	
羽曳野市民ウインドオーケストラ	ティータイムコンサート
羽曳野少年少女合唱団定期演奏会	(コロナにより中止)

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 羽曳野市文化連盟は、市民文化祭実行委員会の母体的な役割を長年担っており、市民が文化活動に親しみ参加していく入口として大きな役割を果たしている。 少年少女合唱団及び市民ウインドオーケストラは、市関連イベントなどへの出演、協力が多いため、貢献度は高いと考えられる。 引き続き関係団体への支援を継続していく。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

				コード	632-02-02	
事務事業名		市民文化祭開催事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)	
担当部署名		教育委員会生涯学習室 社会教育課		連絡先	内線4450	
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計	1 一般会計
	施策	3	歴史・文化		款	10 教育費
	施策の方向	2	文化・芸術の振興と仕組みづくり		項	5 社会教育費
					目	1 社会教育総務費
対象(誰を・何を)		市民				
目的(どうしたいか)		市民に文化・芸術活動の発表の場、鑑賞の場を提供することで、市民文化の振興を図る。				
手段(事業内容)		文化関係団体、社会教育関係団体により市民文化祭実行委員会を組織し、市民文化祭を開催する。				

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	2,752	2,804	2,888
人件費	4,913	4,933	4,271
総事業費	7,665	7,737	7,159
うち市負担分	7,665	7,737	7,159

元年度決算主な内訳	
【事業費】	
市民文化祭実行委員会助成金	900千円
会場使用料等	1,904千円
【特定財源】	

活動指標

指標名	市民文化祭への参加部門数	単位	部門
指標の説明	市民文化祭に参加・出展した文化・芸能部門の数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	20	19	19

参考数値	
令和元年度市民文化祭 (発表会及び作品展等)	10月19日～11月10日
会場: LICはびきの、市民会館、 陵南の森公民館	市民文化祭実行委員会 年5回

成果指標

指標名	市民文化祭への参加人数	単位	人
指標の説明	市民文化祭で発表や作品出展した人の数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	1,694	1,828	0

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 羽曳野市民文化祭に参加する文化・芸能の部門は20部門に及び、幅広い分野から参加されている。 なかには学校教育では十分に学ぶことが難しい伝統芸能も含まれている。 日頃の創作活動や練習の成果を発表し、市民に見てもらえる場を提供することは、市民が文化活動に参加する機会の一つになるとともに、伝統芸能を含む幅広い市民文化の振興につながるものである。